

いずみのひろば



「天の国のゆるしの大さき」

ワタナイによる福音書18:21～35



皆さんはどんなものを大切にしていますか。その大切なものを誰かに貸してあげたことがありますか。もしもそれを返してくれなかったら、ゆるしてあげることができるでしょうか。1回でもそんなことがあったら二度と貸したくなくなるかもしれません。でも、本当は、何回かはゆるしてあげることができるかもしれませんね。何回ならできそうですか。

今日の聖書では、イエス様のところに、お弟子のペトロさんが来て、「私は何回くらいゆるしたらいいですか」とたずねました。ペテロさんは、2回や3回ではなく、がんばって7回までゆるせばいいでしょうかと聞いたのです。ところが、イエス様は、7回どころか、その70倍と答えました。そして、もっとよくわかるように、そのあとに、イエス様はこんな話をしました。

ある王様が、家来に1万タラントというたくさんのお金を貸していました。王様はお金を返してもらおうとしましたが、その家来には返すお金がなく、助けてくださいと言いました。王様はかわいそうに思って、1万タラントというたくさんのお金をゆるしてあげました。

自分がゆるしてもらったあと、その家来は仲間の人に会いました。その人は100デナリオンというお金を、家来から借りている人で、家来は返すように言って、「待ってほしい」とたのまれてもゆるさないうで、牢屋にいれたのです。この話を聞いた王様は、「あなたもゆるしてもらったのに、どうしてほかの人をゆるさなかったのか」と言いました。

イエス様のお話は、私たちが神様からいただいている恵みはとて大さきくて、私たちがだれかに貸していたらどうしても返してもらいたい、返さないと戻さないと思うこと、何百万倍だということです。「7回ゆるす」というのは、何百万分の7のほうがいいや1でも2でも、そんなに変わらないほど、天の国のゆるしは大さきいのです。

イエス様は、私たちが、とて大さきな恵みを神様からいただいていることを教えてくさいました。神様からの豊かな恵みがあることをいつも心にとめて、安心してイエス様にしたがって進んでいきましょう。